



# 千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043(222)7207 番

96.7.12 No. 4430

# 会社側反対尋問を一蹴

## — 勝浦地労委で中野委員長証言 —

### JR-JR総連が結託した

### 不当労働行為は明らか

七月九日、午前一〇時より、千葉地方労働委員会に於いて、「勝浦運転区廃止不当労働行為事件」の審問が開かれ、中野委員長に対する会社側反対尋問が行なわれた。

労働委員会の審問室には、鴨川支部を先頭に各支部から傍聴者が詰めかけ、審問室が一杯となる中で審問が行なわれた。

反対尋問で会社側は、まず八五年十一月の第一波ストの時に当時の草木局長が動労千葉の組合員に対して、ストに入るなという趣旨の手紙を出したことに触れ、これに対し中野委員長は「このストライキをやったら全員クビだ」という趣旨の手紙だった。こんなことは組合運動をやっている初めから「た」と弾劾した。そもそもこれまで会社側は、他の裁判・労働委員会において、国鉄当時のストライキのことなどに対しては、「知らない」「忘れた」などと証言を行なってきた。しかし、今回のように手紙の内容まで触れて証言を求めたこと自体、国鉄とJRが一体であることを会社側が自ら認めたことに等しいものである。

動労千葉を押し進めて新型特急運行

また、九四年一二月のダイ改時の特急の取り扱いについての会社側の尋問に対しては、「房総特急ビューについても、動労千葉の運転士がいる館山・勝浦には担当させなかった」と反論し、労務政策に基づきダイ改が行なわれ、その歪みがあったところで頭れていることなどを証言した。

そして、会社側が勝浦運転区廃止＝鴨川運輸区設置のメリツトを一切明らかにすることなく勝浦運転区廃止を強行したことについては、「今回の勝浦運転区廃止については、会社側からそのメリツトを説明するべきだ」と千葉支社のこれまでの態度を弾劾するとともに、「勝浦という過疎化が問題になっているところで、公的な職場がひとつなくなるということは、ますます過疎化を進行させることになる」と述べ、労務政策を優先させるために、地域の生活をも破壊するJRの本質を明らかにした。

西野人事課長  
鉄道労連初代書記長

そして最後に、鴨川運輸区構想を立案したとされる元千葉支社人事課長・西野について会社側が、「動労千葉は革マルと言

っているがどういふことか」という問いに対して中野委員長は、「勝浦運転区を廃止した直後に東京地域本社人事課長に『栄転』した西野は、鉄道労連(現JR総連)初代書記次長であり、革マルとも密接な関係にある人物」であることを証言し、勝浦運転区廃止＝鴨川運輸区設置がJR-JR総連が結託して行なった

不当労働行為であることを証言して会社側の反対尋問を一蹴し、審問を終了した。

次回審問は、九月一七日、一〇時より一五時まで、田中書記長に対する組合側主尋問が行なわれる予定となっている。

JRによる不当労働行為を根絶し、労働委員会闘争勝利に向け、傍聴に結集しよう。

### 関西空港全体構想・陸上飛行阻止へ集会・デモ(ア・ア泉佐野)

「侵略機を関空から飛ばすな」を合い言葉に、七月七日、泉佐野現地において、「関西新空港反対全国総決起集会」が、大阪湾岸住民四団体(泉州、淡路、明石、東灘)、関西反戦共同行動委の主催で開催されました。

集会では、二八年間の「軍事空港絶対反対」という関西新空港反対運動の原点を確認し、アジアへの侵略拠点である国際ハブ空港建設―第七次空港整備五年計画―関空全体構想粉碎、そして、陸上飛行ルート導入阻止へ闘う決意を打ち固めました。

また、沖繩から前達憲共闘議長長の宜保幸男さんからの連帯のメッセージが紹介され、沖繩・関西を結んで、侵略戦争阻止の不退転の意志を明らかにしました。

7.21

## 地引き網大会

7月21日(日)9時  
九十九里一松海岸

ちっぽい  
ナッぽい  
これだねい